

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 **274-2** 号

<p>帖合・番線</p>	<p>部数</p>	<p>法政大学出版局 2018年3月23日配本 定価3888円(本体3600円+税) A5判並製・430頁 松葉 祥一、本郷 均、廣瀬 浩司 編 メルロ＝ポンティ読本 ISBN978-4-588-15092-0 C1010 ★★ メルロ＝ポンティの知覚と身体をめぐる哲学は、現象学・実存主義・構造主義など現代思想全般に計り知れぬインパクトを与え、その影響は身体論として、アート、パフォーマンス、医療、介護、教育、認知科学など様々に広がる。本書は第一線で活躍するメルロ＝ポンティ研究者が未邦訳も含めた著作、講義、草稿などを詳しく紹介、さらに看護学やリハビリ、フェミニズムなど多様な実践領域の研究者が拡張し、その思想の全貌を明らかにする。【哲学・思想】 ☆関連書：記念碑的主著『知覚の現象学』が同時に重版出来予定!</p>
<p>帖合・番線</p>	<p>部数</p>	<p>法政大学出版局 2018年3月下旬配本 定価7560円(本体7000円+税) A5判上製・392頁 逸見 龍生 編 百科全書の時空 典拠・生成・転位 ISBN978-4-588-15091-3 C3010 近代啓蒙思想史上の記念碑たるデイドロとグランペールたちの『百科全書』は、厳しい検閲や弾圧のなかでいかにして執筆・編集・出版されたのか。先行するさまざまな辞典や著作からの借用・書き換え、翻訳や改訂を通じて各項目テキストが成立してきた詳細な内情を解明し、18世紀的な知の地図そのものを再構成する試み。日仏の啓蒙研究を代表する執筆陣が切り開く、『百科全書』研究の新天地! 【思想史・文化史】 ☆関連書：『デイドロ著作集』全5巻、M.インフェリゼ『禁書——グーテンベルクから百科全書まで』(小局刊)ほか。</p>
<p>帖合・番線</p>	<p>部数</p>	<p>法政大学出版局 2018年3月下旬配本 予価3240円(本体3000円+税) A5判上製・予250頁 廣瀬 克哉 編著 《法政大学現代法研究所叢書43》 自治体議会改革の固有性と普遍性 ISBN978-4-588-63043-9 C1331 2000年代以降、日本の自治体で急速に展開している「議会改革」をめぐる、実態調査と理論研究との複眼的アプローチを通じ、現代の政治状況下での「固有性」と、行政国家化に伴う代表制改革の「普遍性」とを解明する。そこから析出される改革推進の構造や障壁回避の方策をもとに、今日求められる自治体議会改革推進のための具体的提言を発する。 【政治学】 ☆関連書：松下圭一編著『自治体改革＊歴史と対話』、岡田彰・池田泰久編著『資料から読む地方自治』(小局刊)。</p>
<p>帖合・番線</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 大好評につき 重版決定!! </div>	<p>部数</p>	<p>法政大学出版局 2018年2月中旬配本 定価3024円(本体2800円+税) 四六判上製・214頁 コンラート・パウエル・リースマン 著／斎藤 成夫・齋藤 直樹 訳 《叢書・ユニベルシタス1061》 反教養の理論 大学改革の錯誤 ISBN978-4-588-01061-3 C1310 現代オーストリア随一の哲学者が、グローバル化した「知識社会」で経済効率やランキング競争一辺倒になったヨーロッパの大学改革を徹底批判し、すでに27刷を重ねた異例のベストセラー。「反教養」に支配され、実学重視の名のもとに繰り返されてきた場当たり的で空疎な教育改革ではなく、人間性の批判的啓蒙と伝統に根ざした大学の再生を問う。教員・学生・市民必読の書。 【大学論・教養論】 ☆関連書：スローター&ローズ『アカデミック・キャピタリズムとニュー・エコノミー』、ランシエール『無知な教師』(小局刊)。</p>
<p>帖合・番線</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 大好評につき 重版決定!! </div>	<p>部数</p>	<p>法政大学出版局 2018年3月下旬配本 定価8640円(本体8000円+税) 四六判上製・896頁 M.メルロ＝ポンティ 著／中島 盛夫 訳 《叢書・ユニベルシタス112》 知覚の現象学 (改装版) ISBN978-4-588-14025-9 C1310 サルトルとならび戦後思想の根底に計り知れぬ影響をもたらした著者の記念碑的大著の全訳。近代哲学の二つの代表的な立場、主知主義＝観念論と経験主義＝実在論の両者を、心理学・精神分析学の提供する資料の解釈を通じて内在的に批判するとともに、両義的存在としての「生きられる身体」の概念を回復し、身体＝知覚野において具体的・人間的主体の再構築をめざす。 【現象学】 ☆関連書：メルロ＝ポンティ『知覚の本性(新装版)』、『見えるものと見えざるもの(新装版)』(小局刊)。</p>

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： [] E-mail： []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
- * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
- * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。